

LION FUKUSHIMA
2013~2014



2013 **12** 通刊417号

ライオン福島



2013-2014年度 スローガン *Slogan*



国際会長(バリー・J・パーマー)テーマ

夢を追いかけてよう

332複合地区 アクティビティスローガン

復興の明かり 灯し続けて We Serve

332-D地区 ガバナーテーマ

真心と創意工夫でウィ・サーブ

332-D地区 アクティビティスローガン

さしのべる 手の温もりで奉仕の輪

表紙写真: 冬の風物詩「福島市岡部の白鳥」



冬の風物詩 福島市岡部の白鳥。

諸般の事業により行政の保護を離れても、シベリアから毎年飛来する白鳥たち。

寒風を受けて飛翔する姿は、白鳥がたくましい野鳥であることを改めて感じさせます。

「ガンバレ白鳥!!」 来春の無事帰還を祈ります。

(写真撮影者/福島市 古関 キヨ子様)

ライオンカレンダー *Event Information*

2013年 12月	1日(日)	会津塩川LC35周年記念式典(於:ふるさと会館)
	7日(土)	第2回YCE委員会(於:ホテルプリシード) 冬期YCE派遣生・ホストファミリー激励交流会(於:ホテルプリシード)
	8日(日)	薬物乱用防止教育認定講師養成講座(於:ユラックス熱海)

2014年 1月	12日(日)~17日(日)	LCIFスタディツアー(於:カンボジア)
	15日(水)	ガバナー・副地区ガバナー推薦状受付締切 上半期会計監査
	23日(木)	第3回名誉顧問会議(於:摺上亭 大鳥)

目次 *Contents*

● ライオンカレンダー	1
● 第52回東洋東南アジアフォーラム参加報告	2
● 第3回内局員会議 & 第1回地区年次大会実行委員会	3
● 332複合地区 ライオンズクエスト研修会	3
● 2012~13年度夏期 YCE派遣生レポート	4
● 夏期来日生ホストファミリー報告	5~7
● PR・ライオンズ情報委員会&IT委員会合同会議	7
● 第2R・第1Z福島西LC40周年記念式典	8
● 第3R・第1Z郡山東LC30周年記念式典	8
● 第5R・第1Z石川シニアLC10周年記念式典	9
● 第6R・第1Zいわき勿来LC40周年記念式典	9
● 4クラブ「秋の合同例会」開催	10
● 「第37回郡山南LC杯少年少女球技大会」開催	10
● 第3R・第1Z・第2Z 合同ニューメンバースクール開催	11
● 新地LCがマイクロバスを贈呈	11
● 各ライオンズクラブ活動報告	12~19

シンガポールは本島をはじめとする60以上の島から成り立っています。本島はマレー半島の先端に位置し、小さいながら活気に満ちた港や世界の企業オフィスが集まる中心地など、発達した経済は世界でもトップレベルを誇ります。国民は中国系、マレー系、インド系など多民族にわたります。

また、衛生面での取り締まりが厳しく、ゴミやタバコの投げ捨てなどは法律で禁止され、罰金の対象となることでも有名です。そんなシンガポールは公園都市とも言われています。

第52回東洋東南アジアフォーラムはシンガポールでも随一のホテル「マリーナ・ベイ・サンズ」で開催されました。そのホテルはマリーナ湾に面した45,000人収容可能なコンベンションセンターと55階建ての3つのホテル、大型シアターなどが併設した中にカジノがあります。3つのホテルの屋上をつないだ空中公園「スカイパーク」はその斬新さに目を見張るものがあります。16,000台のスポットが3フロアに並びさまは壮観のひとつであります。



第52回 東洋東南アジアフォーラム 参加報告

11月7日(木)～10日(日)

- *参加者総数6,650人、日本からは2,031人が参加しました。
- *2014～2016年の国際理事候補者はL西川義規(335-A地区姫路白鷺LC)が承認されました。
- *韓国ナイトへ招待され、次回開催の第53回と東洋東南アジアフォーラム(2014年11月13日～16日)への参加を要請されました。
- *ジャパンナイトでは山田實紘国際第二副会長は挨拶の中、家族会員制度で会員倍増の協力を呼びかけました。また、西川義規国際理事候補は2014～2016年度の国際理事選挙(カナダ・トロント)での投票をお願いされました。バリー・J・パーマー国際会長は日本ライオンズの活躍を称えました。
- *MD332の夕べには37名が参加し、和気あいの内に東北はひとつ災害に負けないで東北魂でがんばろうとシンガポールの夜を過ごしました。

第52回OSEALフォーラム・ガバナー参加プログラム
会場: サンズ・エキスポ&コンベンションセンター
本部ホテル: マリーナ・ベイ・サンズ
2013年11月7日(木)～10日(日)

日	時間	プログラム
11月8日 (金)	08:00-09:00	第1回議長と地区ガバナーのセミナー
	09:15-10:15	国際会長と地区ガバナーの会議
	13:30-17:00	閉会式
	17:30-18:30	ジャパン・ナイト(招待制)
	19:30-	MD332の夕べ
11月9日 (土)	08:30-09:30	第2回協議会議長と地区ガバナーの会議
	10:00-11:30	「連結性とライオンズムの奉仕」セミナー (Dr. ウィンク・タム元国際会長)
	14:00-17:00	YCEセミナー
	15:00-17:00	LCIFセミナー(ウェイン・マデン元国際会長)
	14:00-15:00	レディーズプログラム(アート)
	15:30-17:00	レディーズセミナー&ワークショップ(WINGS)
	18:00-19:00	韓国ナイト(次回フォーラム開催地)
19:00-22:00	国際会長晩餐会	
11月10日 (日)	08:30-09:30	第3回協議会議長と地区ガバナーの会議
	10:00-12:00	閉会式

<登録者名>

L安澤莊一 L安澤恵子 L若木 幹 L渡邊 豊 L山口一男 L溝井良美 L真船正康 L守山勝雄 L斎藤正明
L小嶋裕一 L村松公櫻 L高橋 進 L鈴木正朗 L大和康廣 L藤崎秀樹 L青木裕一 L阿部好春 L大竹 淳
L酒井和廣 L木幡勝彦 L中川庄一 L星山 天



安澤 莊一ガバナーを囲んで「第3回内局員会議」 & 「332-D地区第1回地区年次大会実行委員会」

- 日時 2013年11月2日(土)午後6時～
- 場所 鹿島ガーデンヴィラ(白河市)

ライオンズクラブ国際協会332-D地区の第3回内局員会議を兼ねた第1回地区年次大会実行委員会合同会議が開かれ、来年5月11日開催予定の第60回地区年次大会の日程や組織などについて協議しました。

キャビネット副幹事兼事務局長のL寺島 常昭の司会で始まり、キャビネット幹事のL溝井 良美が開会の言葉を述べた後、同会計のL真船 正康が出席者を紹介しました。安澤 莊一地区ガバナーは「第60回地区年次大会は原点回帰となる大会。記録と記憶に残る大会となるよう、心を一つに同じ方向を向いて進みたい」と挨拶しました。

続いて、協議事項では第2回キャビネット会議の内容について話し合った後、来年5月11日に白河中央体育館で開かれる地区年次大会の日程や予算、同大会成功に向けた組織表などについて話し合いました。

次回会議を来年1月20日午後6時から鹿島ガーデンヴィラで開くことを申し合わせました。



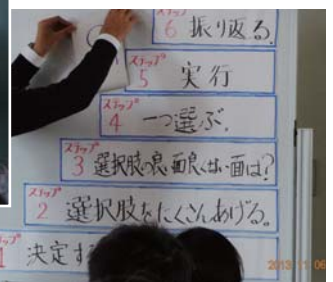
333複合地区 「ライオンズクエスト研修会」開催 栃木県佐野市立葛生中学校

平成25年11月6日(水) 10:00よりライオンズクエストの先進校であります栃木県佐野市立葛生中学校で333複合地区ライオンズクエスト研修会が開催されました。

石澤クラブクエスト委員長の進行により、L井上 幸一(複合地区ライオンズクエスト委員長)の挨拶、尾崎 則子校長先生の挨拶、塩田 彦之葛生ライオンズクラブ会長の挨拶に始まり、参加者紹介。

10:30～11:20まで1年B組教室のライオンズクエスト「適切な意志決定をするためのステップ」の公開授業参観が行われた後、11:30～13:30の間、昼食を取りながら「校長先生の導入の決断と今後のアドバイス」「1人で14校へ普及した石澤クラブクエスト委員長の体験発表」と真剣に質疑応答がされ、有意義な研修会となりました。因みに導入はL井上 幸一がガバナーの時の2007年に導入し、当地域の中学校は全部ライオンズクエストを実施し成果が出ているとの事でした。

本県からは5名の先生とライオン3名が参加し、更に先生方は14:00～15:00まで研修を続けて散会しました。



YCE派遣生 折原 彩香
(スポンサークラブ 郡山北LC)
派遣先 / チェコ&スロバキア

私にとって初めてのヨーロッパはこの派遣先、スロバキアでした。すべてが初めてづくしでとても成長できたと思います。まず初めてのトランジェット。フランクフルト空港の案内の人は日本より無愛想で、お店でサンドウィッチと水を買いましたがお釣りの渡し方が乱雑過ぎて、早速カルチャーショックを受けました。飛行機も時間通りに来ず、ゲートも直ぐに変更されてしまい混乱しました。ウィーン行きの飛行機は今まで乗ってきたどの飛行機とも違うシートの配置で、どれも同じシートのタイプで内装は新幹線のようなのです。

ウィーン空港について、1軒目のホームステイ先のマザーとシスターが待っていてくれて、一安心。マザーと挨拶をする時、握手をして頬と頬を合わせる挨拶をしました。私は初めての挨拶だったので動揺してしまいました。家では、とても広い庭があり、ツリーハウスやブルー、リンゴの木がたくさんありました。よく庭に

裸足で出て行き、ブルーをとって食べていました。日本では靴を玄関で脱ぎますが、スロバキアは家の中にも靴のままです。入っていきなり、脱いだりと特にルールがないようで逆に混乱しました。シャワーも日本とは違う仕組みでよく分からず、水が出ない事が2、3回あり、その度シスターを呼びました。日本に比べ、だいぶ水圧が弱く感じました。ホームステイ先の生活は毎日2、3個予定があり、忙しくホームシックや暇を感じる時はありませんでした。家や街並みは思い描いていたよりも荘厳過ぎて始終カメラで写真を撮っていました。ユネスコに連れて行ってもらったり、お城に行ったり、洞窟に行ったり、スロバキアの歴史や自然に触れて、やはり日本とは全く違いました。お城は言わずもがな日本のお城とは全く違うもので、映画の世界に入り込んでしまったような気持ちになります。洞窟は案内人の後ろをついて行くようなかたちで、その洞窟の見所や歴史が知れて、より一層楽しめました。(アナウンスがスロバキア、ドイツ、ハンガリー語なので、シスターやマザーが通訳して下さいました)

次のホームステイ先でも毎日予定が詰め込まれていて、本当に充実してしま

た。シスターとシスターの彼氏が日本語を話せたので、なんの不自由もなく生活できました。たくさん旅行に連れて行って貰って、あまり家にいませんでした。特に印象に残ったのは、チェコに行ったことです。陸続きなので、他の国に行くのは日本で言うと他の県に行くような感覚に近く、凄く新鮮でした。

ホームステイでの生活は本当に忘れられない貴重な体験ができました。私の感覚が一気にワールドワイドになった気がします。今でもホームステイ先と連絡を取っていて、いずれ一緒に旅行します。このような素敵な体験ができて、本当に良かったです。



2012-13年度夏期

YCE派遣生レポート

YCE派遣生 土井 輝正
(スポンサークラブ 郡山東LC)
派遣先 / チェコ&スロバキア

今夏、わたしはYCE派遣事業に参加し、とても貴重な体験をすることができました。わたしが訪問した国は2つあります。

1つ目はスロバキアでした。わたしにとっては初めてのヨーロッパということもあり、飛行機の中からとても興奮してしまいました。そして空港に到着した時に、ロビーで自分の名前を書いた紙を持って待っていてくれた姿を見た時には、感動しました。その日は時差ボケがとても辛く、上手くコミュニケーションが取れないのでは、と心配でしたが、ゆっくりと耳を傾けてくれて嬉しかったです。ホストファミリーの人達は次の日から、スロバキアの首都であるブラチスラヴァの市内を案内してくれたり、世界遺産にも登録してある古城、洞窟や教会と本当にたくさんの場所へと連れて行ってくれました。その中でも特に思い出に残っていることは、ホストファミリーの皆で森の中をサイクリングしたことです。サイクリングと言っても森の中なので、とても険しい道で

した。途中で休憩をしながら会話を楽しんだことが、本当に楽しく忘れられない思い出になっています。そしてあつという間に1週間が過ぎてしまいました。

そして2軒目のホストファミリーへと向かう電車に乗る時はプラットフォームまでわざわざ来てくれました。その時は別れが辛く本当に涙が出そうになりました。そして電車に乗り5時間掛けて次のホストファミリーが待つチェコへと向かいました。

チェコではホストファミリーが駅まで迎えに来てくれていましたが、電車が遅れた為に心配をかけてしまいました。その日の自己紹介では自分も少しだけ英語に慣れてきたのでスムーズにすることができました。チェコでもスロバキアと同様に市内を観光したり、街並みが世界遺産になっている所や隣国のドイツ、ポーランドとの国境といった様々な場所に連れて行ってもらいました。その中でも特に思い出になっていることは、ホストファミリーの友達に日本好きな子がいました。マンガやアニメのファンで、日本人である自分よりも詳しく驚くと同時に、とても嬉しくなりました。そして、やはりチェコでも1週間という時間はあつという間に過ぎてしまい別れの時が来ました。空港まで見送ってもらいスロバキアの時と

同様に涙が出そうでした。

今回の派遣先であった出来事は、ここに書ききれないくらい、たくさんありました。どれも本当に楽しく思い出となっています。また、それぞれホストファミリーは親切で本当の息子の様に接してくれました。日本に帰国したあとメールやフェイスブックなどを利用し連絡を取り合う事ができ、また会おうと互いに約束もしました。その時には今以上に英語の勉強をして、たくさんのお話を楽しみたいと思います。更に今まで気付かなかった日本の魅力なども再認識することができました。

最後になりましたが、わたしにこのようなチャンスを与えてくれて本当にありがとうございました。今年の夏の思い出は自分の人生の宝物となったので、大切にしていきたいと思っています。



夏期来日生ホストファミリー報告・台湾 馬 云婷(マー ユン ティン)

第1ホスト

L 矢島 義謙(郡山東LC所属)

「まめちゃんと過ごした10日間」

7月17日からの10日間、台湾からの留学生の馬云婷(愛称:まめちゃん)さんが我が家にホームステイし、高松山権現太鼓会や御詠歌舞踊など、様々なお寺の活動を体験してもらいました。

また、地域の子供達を集めて1週間の座禅研修を行う、第35回青少年教化研修会にも参加してもらい、子供たちとの交流の機会を作らせてもらいました。3歳から高校生まで、子供達はまめちゃんの話に興味津々で、質問コーナーではたくさんの質問や笑い声が響く、楽しい時間になりました。

このほんの少しの交流でも、子供達の心の中に「台湾」という国への興味や好意となって残ってくれたら嬉しいなと思っています。

そしてまめちゃんと過ごす時間は、私達矢島家にとっても毎日の楽しみでした。彼女は日本語が上手で明るく、誰からも好かれる人柄で、台湾の文化や日常から他愛もない話しまで、全てが

楽しく、新しい文化に触れる事・知る事がこんなに楽しいものなんだと、改めて気付かされました。

今までは「台湾」と聞いても、行った事もない知らない国だと、何も感じなかったものが、まめちゃんと出会った事で、私達家族の大切な国になりました。

世界平和と言ったら大袈裟かもしれませんが、その第一歩は国際交流なんだと心から感じた10日間でした。もし、世界中の全ての国の人、1人ずつでも友達が出来たら、国をだたの「国」としてだけ捉えずに、その中にある人として見る事が出来るようになるのでしょうか。

まめちゃんは私達の新しい家族です。とても素晴らしい経験をさせて頂いた事を、ライオンズクラブの皆様へ心から感謝致します。



●台湾来日生 馬 云婷(マー ユン ティン)レポート <矢島家にて>

矢島さんの家にホームステイしてからの10日間、毎日毎日楽しく過ごしました。私一人の海外旅行も初めて、日本人の生活とか習慣とかのことはあまりにもわからないので、最初は緊張と不安しか感じられませんでした。でもここに来て、矢島さんの家族と一緒に生活して、みなさんにすごく優しくされて本当に嬉しかったです。みんなと一緒にご飯を食べて、一緒に買い物をして、一緒にテレビを見て、いっぱい話をして、子供とお風呂に入って、座禅をして、花火もやって、さまざまな思い出が頭の中を駆け巡る。

それに、ライオンズクラブのみなさんもすごく親切に私のことを歓迎してくれて、地元を案内して、毎日私をいろいろな有名な観光地に連れて行って、美味しいお料理をご馳走して下さい、毎日忙しく本当に嬉しくて、とても充実した時間でした。

日本に滞在の際には、いろいろな日本の文化と日本語を教えてもらって、いろいろな体験をさせてもらい、いっぱいお友達が出来ました。台湾と日本のライオンズクラブの皆様のお蔭で良い思い出に残る時間を過ごすことが出来ました。また、ここに来る機会がある事を願います。

郡山東ライオンズクラブの皆様のお心遣いに感謝致します。ありがとうございました。



夏期来日生ホストファミリー報告・スロベニア

Ajda Pristovšek Podergajs

第1ホスト

L 熊田 孝一 (石川LC所属)

ライオンズクラブYCE事業そのものである交換留学生の受け入れを行った。留学生の名前はAjda Pristovšek Podergajs (通称: アイダ)、スロベニアの都市Celje(ツェレエ)から来た16歳の女子高校生である。

今回は、最初から最後まで彼女には驚かされた。実は、私はこれまで他団体を含め10人以上の留学生を我が家に受け入れてきたが、最初から彼女のように、上手な日本語を話せる留学生は初めてだった。自国で日本語クラブに参加して勉強していても、挨拶くらいしか出来ていなかった。そして、普段の日常会話ができるようになるまでに、3カ月以上かかっているのが普通だった(語学留学生は日本の高等学校に一年間滞在する)。彼女の自己紹介に「私は日本語を話せません」とはあったが、まさかここまで出来るとは思っていなかったのが驚いた。いろいろ話を聞いてみると、彼女は日本のほぼ全てのことについて、かなりの興味を持っているようだ。それらは、インターネットを介して、彼女の住んでいる国でも簡単に調べることができる。だからこそ、彼女の日本語はここまでになったのだと思う。それにしても、わずか2年間でここまでになるとは素晴らしい。そして、この2週間の滞在中にも新しい語彙や、我が家の怪しい日本語もマスターして、来日直後の時よりもさらに彼女の日本語は上達した。

さらに驚くべきは、彼女は会話の端々で、いまどきの言葉を使う。それはまさにフツウの若者の話し言葉である。そして上手に使い分けて、使ってよい時にしか使わない。

彼女は時間があると、インターネットで日本の青春ドラマ(死語?)やアニメをよく見ているようで、それらの内容をよく知っている(残念ながら私は全然わからなかった)。

●スロベニア来日生 Ajdaレポート (熊田家にて)

こんにちは、私の名前はアイダ、16歳です。私はライオンズクラブの交換留学プログラムで日本に来ました。私はこの二週間、石川町の熊田家に滞在しました。彼らは私に実の家族の一員のように感じさせたので、私はホームシックになりませんでした。そして今、私はここを去ろうとしているので、彼らを恋しく思っています。2人の年上の姉妹と新しい両親が、私に突然出来ました。彼らは、私が日本語の男言葉を使ったり、箸をなめてみたりしても怒ったりせず、一緒に冗談を言っていました。彼らはとても素晴らしい家族で、少しの間でも、私がその家族の一員だったことを嬉しく(そして、ラッキー)思います。

日本に来る前の、私の日本語についての知識はますますでしたが、さらに、私がここに滞在中に語彙が、ものすごく(指数的に)増えたと思います。私は旅行の前から日本に興味を持っていました。日本は伝統を技術に触れさせ、それらを融合して、ユニークな体験を生み出す素晴らしい国です。私が外国人であるため、通りの人にジロジロ見られても、私はこの大きな島国の一部になったように感じました。人々は親切で、親しみがあり、いつも微笑んでいます。水田のある田舎は美しく、大きな都市は魅力的、そして面白い。私はここで生活したいです。

実は、私は福島や石川は選択していませんでした。しかし、私はかつてないほど楽しみました。

日本へ行くことは私の夢でした。そして、それを達成するのに助けていただいた皆さまに本当に感謝しています。必ずや、私はここに戻ってきて、生活や仕事をするでしょう。

最初、どこ行きたい?何見たい?と尋ねてみたら、「ハラジユク」だ「シブヤ」だとか言っている。そのうち「メイドサン・コスプレが見たい」と言った。さすがに吹いた……

毎度の事だが、生活環境、文化のまるで違う他人同士と一緒に生活することになる。最初こちらは気を遣い、そして留学生は猫かぶっている子がほとんどだ。しかし、それもいいと一週間くらいで、その後互いに少しずつ地が出てくるが、なんと彼女は3日目にしてその正体を現した。どうやら熊田家に3日で順応してしまったようだ。そして、彼女はかなりの強情者だった……

彼女は我が家の滞在最終日の前日に、熊田家滞在分のレポートを提出した。実はレポート作成の件で最初に説明したのにもかかわらず、最後になって一悶着あったが、とりあえずレポートは完成した。

彼女にとって、福島県は意中の場所ではなかったようだが、「皆様の御蔭で日本に来るとい夢がかないました。」と皆に感謝しているので、「仕事も半端にして、世話した甲斐があったなあ」と嫁と二人で話している。しかし激しく疲れた……

彼女は将来日本で生活したいと言っている。そして、それが叶うことを願っている。彼女の将来が本当に楽しみである。

今回のホストクラブである石川ライオンズクラブ、YCE委員長及び実行委員長、キャビネット役員及び事務局員また皆様様のサポートに感謝しつつ、今回のホストファミリー報告書とする。



スロベニア Ajda Pristovšek Podergajs

第2ホスト

L 杉本昌子 (いわき東LC所属)

主人が逝って早1年が過ぎ、我が家では留学生を預かることは無いなあと思っておりました。それでも主人とは、震災後また早く留学生を預かる事が出来たらいいねーと話していました。

そんなある日、突然娘の十和恵から、今度アイダが日本に来るよ!と…まさかと思いつつ、来たらうちで預かろうね!と相談して、娘にも協力してネ!と…。

アイダは娘がお世話になったホストファミリー宅のお嬢さん。これも何かの縁と考えお引き受けしました。サマーキャンプのあとから、私共の所へ来てくれて、それからは帰国するまであつという間でした。娘とアイダの2人でおめかしして七夕見物に行ったり、カラオケBOXへ行ったり、姉妹のようにいつも一緒に…。

帰国前日のディズニーランドには、姪っ子達も合流して本当に楽しい2週間でした。主人にも良い報告ができました。

●スロベニア来日生 Ajda レポート(杉本家にて)

こんにちは。私はアイダ16才です。この度ライオンズクラブ交換留学で日本を訪問しました。約1ヶ月を過ごし、私は日本に恋をしました。人々、文化、建物、空気、そのすべてが大好きです。

ライオンズクラブの青少年交換プログラムに参加出来た事は、大変嬉しく名誉な事でした。そして、こうして日本を訪問する事が出来、本当に感謝しています。何より以前私の家にホームステイした友人と再会する事が出来ました。そして日本だけではなく、世界中に新しい友人が出来ました。私のような内気な人間にとってはまさに偉業です。(使い過ぎだと知っていますが)今、私には愛すべき3つの家族がいます。私達は本当の家族のように過ごしました(演技ではなく本当に)

私は、日本の皆さんから多くの事を学びました。例えば忍耐とか、責任や互いにケアし助け合う事など。またここに帰ってくるのが待ちきれません。去らなければいけない事が本当に残念です。

そして悲しい事に帰ってこられるのは早くて2年後です。

今回の経験は、本当に素晴らしく、一生に一度のもので、感謝してもしきれない程です。私は死ぬまで覚えていたい素晴らしい思い出を作る事が出来ました。ライオンズ青少年交換は、若者に外の世界とつながる機会を与え、視野を広げてくれる素晴らしいプログラムだと思います。



第5回「PR・ライオンズ情報委員会&IT委員会」合同会議

第5回PR・ライオンズ情報並びにIT合同委員会会議が10月21日(月)12:00より福島県トラック協会須賀川支部会議室で行われました。安澤 莊一地区ガバナー、真船 正康キャビネット会計、IT委員、PR・ライオンズ情報委員、波デザイン香西様の計19名の出席で行われました。田中 孝敏PR・ライオンズ情報副委員長の司会により進行され、田村 幸一IT副委員長にて開会されました。そして三本木 礼子PR・ライオンズ情報副委員長より出席者が紹介され、安澤 莊一地区ガバナー、吉田 敬一PR・ライオンズ情報委員長、荒井 仁IT委員長の挨拶の後、早速、吉田 敬一PR・ライオンズ情報委員長が議長の座につき、6件の協議事項を慎重審議し、次回会議は11月21日(木)13:00より白河市の「鹿島ガーデンヴィラ」で行う事を確認し、遠藤 光幸PR・ライオンズ情報副委員長により閉会されました。



(右)挨拶をされる荒井 仁IT委員長



(左)安澤 莊一地区ガバナー
(右)吉田 敬一PR・ライオンズ情報委員長

福島西LC 「結成40周年記念式典」盛大に開催

結成40周年記念式典は10月12日、サンパレス福島で約290人が出席し行われました。中野大会委員長が歓迎の言葉を述べ、村松会長が「会員の奉仕への熱き思いを結束して奉仕活動を伸展させる」と挨拶。記念事業として小学生を「よい子の劇場」公演へ招待、児童養護施設へ図鑑とSDラジカセ寄贈、LCIF1,000ドル献金、献血運動実施を発表。

瀬戸福島市長、安澤地区ガバナー、スポンサークラブの福島中央LC佐久間会長、姉妹クラブの山形霞城LC佐藤会長より祝辞をいただきました。



郡山東LC「結成30周年記念式典」開催



10月18日(日)菊薫る秋の好き日に郡山東ライオンズクラブ結成30周年記念式典(参加250名)をベルヴィ郡山館に於いて開催させて頂きました。改めて関係各位のご支援により成功裡に終わりましたこと御礼申し上げます。

郡山東ライオンズクラブは、1984年6月17日、郡山あさかライオンズクラブのスポンサーにより、県下69番目のクラブとして誕生しお陰様で30周年を迎えることができました。スポンサークラブへ感謝すると共に、姉妹・友好クラブ、ブラザークラブのご指導ご薫陶に衷心より御礼申し上げます。

30周年記念のアクティビティーは、東日本大震災で苦しむPTSD(心的外傷後ストレス障害)の治療を行っている①福島復興心理・教育臨床センター(所長 国際基督大学準教

授橋本 和典氏)へ運営資金の寄贈、②会員倍増計画記念アクティビティーとして会員102名の達成、③学校法人 星槎国際学園・星槎国際高等学校へホワイトボード10台、④開学20周年記念として公立大学法人会津大学へ高圧洗浄機3台寄贈、⑤福島県立郡山養護学校へ車椅子1台を寄贈させて頂きました。

激しい時代変化により、人々の価値観も多様化しております。東日本大震災の自然災害と人災と思える原発事故で改めて生き方が問われる状況になりましたが、変わる事のない生き方の基本とライオンズ精神を今後も大切に三十年の歴史に甘んじることなく全会員が自己研鑽と社会奉仕に精進する所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

石川シニアLC 「結成10周年記念式典」盛大に開催

10月27日玉川村マーヴェラス末広にて石川シニアLC10周年記念式典がライオンズ会員、一般ご来賓等多勢の出席者のもとに盛大に開催されました。吉田司郎幹事の司会により進行され、大平 善道実行委員長の歓迎の挨拶、渡辺 祥一郎第2副会長から来賓及びキャビネット役員紹介、更にブラザークラブの紹介があり、相楽道雄石川シニアLC会長の式辞、安澤 莊一地区ガバナー挨拶、スポンサークラブ矢内 清史石川LC会長式辞、加納 武夫石川町長来賓祝辞と続き、斉藤 仁吾事業委員長より記念事業が発表され、相楽 道雄石川シニアLC会長からの記念事業目録贈呈の後に、會田 長榮(社)桜が丘学園理事長が記念事業受領者代表謝辞を述べられました。最後に相楽 道雄石川シニアLC会長の閉会ゴングにより盛大且つ厳粛に式典が終了しました。

引き続き岡崎 勝宗祝賀委員長により祝宴が開宴され、芳柳流名取りであります相楽道雄石川シニアLC会長令夫人とその生徒の皆様により見事な祝舞が祝宴を盛り上げ、名残惜しみながら大盛会の内に閉会しました。

(記事/PR・ライオンズ情報委員長 L吉田 敬一)



挨拶をされる相楽会長

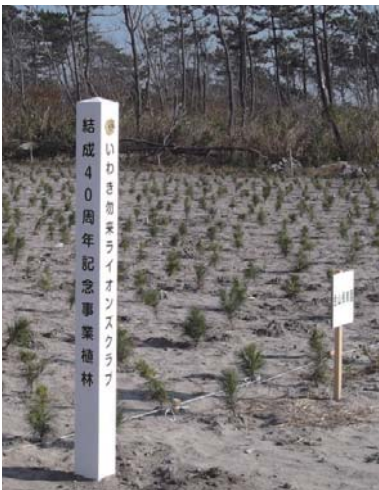
挨拶をされる
安澤地区ガバナー

桜が丘学園理事長
會田氏

舞踊を披露される
L相楽会長LL



いわき勿来LC「結成40周年記念事業」



去る10月28日(月)いわき勿来ライオンズクラブ結成40周年記念事業及び式典が開催されました。

今回の式典は、津波の被害を受けた錦町須賀海岸の防風林の黒松3,000本植樹を目的として勿来地区の園児約500名の参加を呼び掛け子供達と来賓の方々全員で植樹を行いました。会場が植樹を執り行う屋外での式典となり、初めての試みとなりましたが、小堀 隆大会会長はじめ小野 新一実行委員長と全会員が一丸となり周年式典に向け着々と準備を整えてきた結果が晴天にも恵まれ、事故や怪我もなく無事に事業を進める事が出来ました。安澤 莊一地区ガバナー並びに溝井幹事、真船会計その他各界からの来賓と避難地区の双葉町の町長、勿来地区の仮設住宅に避難している双葉町住民の方々もご出席いただきました。

須賀川・須賀川中央・鏡石・いわせオリオンLC

4クラブ「秋の合同例会」開催

4クラブ秋の合同例会が平成25年10月16日(水)18:00より東都郡山カントリー倶楽部で行われた。(須賀川LC第1188回、須賀川中央LC第925回、鏡石LC第728回、いわせオリオンLC第427回)

当日チャリティゴルフ大会も計画しておりましたが、生憎の台風で順延となりました。いわせオリオンLC幹事のL善方の司会により進行され、いわせオリオンLC会長のL兼子の挨拶の中で定期的に4クラブが一堂に会してそれぞれのクラブが年1回幹事クラブになり、合同例会を行っているのは非常に良い事で、誇れる事であるので、今後ずっと続きます事祈念しますとのお話があり、大変有意義な例会となりました。

例会後は懇親会となり秋の夜長を大いに楽しみました。

(幹事クラブはいわせオリオンLCでした)



▲挨拶されるいわせオリオン LC・L 兼子会長



◀ウィサープの発声する須賀川中央 LC・L 金澤会長

郡山南LC主催

「第37回郡山南LC杯少年少女球技大会」開催

ミニバスケットボール大会が平成25年10月20日(日)午前8時より安積第3小学校 体育館にて行われました。開会式のことばをL丸山 孝男、大会における注意事項の説明を執行委員長L舞木 進、趣旨説明を含めた主催者あいさつを会長L橋本 正喜が述べました。また、本日来賓の3R1Z・ZC L箱崎 哲司より挨拶をいただきました。

試合開始は午前8時30分。参加クラブ8チーム計108名で試合が始まりました。試合は予選リーグ方式、優勝戦はトーナメント方式にて白熱した試合が繰り広げられました。なお、試合は2013年日本ミニバスケット規則に準じて行われました。

白熱した戦いが繰り広げられ、監督、チームメイトの応援、また父母の皆様の応援には大変熱が入っていたのをとても感じました。楽しいながらも身のある大会になったと思います。皆様のおかげで無事大会を終了する事ができました。(担当/PR・ライオンズ情報副委員長 L田中 孝敏)

- <試合結果>
- | | |
|-----|-------------------------|
| 優勝 | F.Kあさかミニバスケットボールスポーツ少年団 |
| 準優勝 | 大槻ミニバスケットボールスポーツ少年団 |
| 3位 | 桃見台バスケットボールスポーツ少年団 |
| 4位 | 安積ミニバスケットボールスポーツ少年団 |



332-D地区 第3R・第1Z・第2Z合同

「ニューメンバースクール」開催

10月25日(金)郡山ビューホテルにて332-D地区第1Z・第2Z合同ニューメンバースクールが開催されました。

まず「新入会員用オリエンテーションDVD」鑑賞し、GMTコーディネーターL大槻 美紀男より会員増強の必要性や会員同士の結束力を高める方法などを説明し、GLTコーディネーターL二瓶 克雄からは、ライオンズクラブの歴史、目的「We Serve」我々は奉仕する。ライオンズクラブ国際協会組織等が説明された。

新会員にはオリエンテーションで世界のライオンズクラブの数は、…208ヶ国、46,000クラブ、130万人の会員。日本では、3,200クラブ、10万5千人の会員がいるなど基本を勉強した。

当日は役員4名、新入会員10名、会員8名 計22名が参加し、勉強会が終了した後、懇親会が行われ親交を深めました。



GMTコーディネーターL大槻 GLTコーディネーターL二瓶



東日本大震災復興支援LCIF交付金事業 新地LCがマイクロバスを贈呈



平成25年10月29日(火)午前11時00分～11時30分
新地町役場駐車場にて、新地ライオンズクラブLCIF支援マイクロバス寄贈式が第1副ガバナーL渡邊 豊、キャビネット幹事L溝井 良美出席のもと、開催されました。

第1副地区ガバナーのあいさつ、新地ライオンズクラブ会長:L安田 清克のあいさつその後バスの寄贈式が行われ、新地町長:加藤 憲郎様の謝辞頂き、記念写真を撮影し閉式としました。

<参加会員>第1副地区ガバナー・キャビネット幹事・
新地ライオンズクラブ会員13名



各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第1R・第1Z

桑折ライオンズクラブ

■平和ポスター展示

桑折町内小中学校から43点の平和ポスターの応募があり、10月2日の第一例会時会員が、優秀作品3点を選出しました。

<福島信用金庫 桑折支店>

10月4日から10月17日まで展示

<東邦銀行 桑折支店>

10月18日から10月29日まで展示しました。



第1R・第1Z

福島グリーンライオンズクラブ

■10/7(月)〔アニマルセラピーの訪問〕

動物との触れ合いを通じて被災地に笑顔になってもらおうと、震災復興支援「アニマルセラピーの旅」岩手遠野市～東京八王子迄の600キロを行っている一行(女性1名とポニー1頭と犬2匹)が、福島市に入った際、当クラブが仲介し、市内の敬香保育園、福島ゆかり保育園などの園児が動物と触れ合いました。

クラブからは、弁当、菓子、動物のエサ(人参、缶詰、ドックフード)などを差し入れたほか、支援金3万円を贈呈。

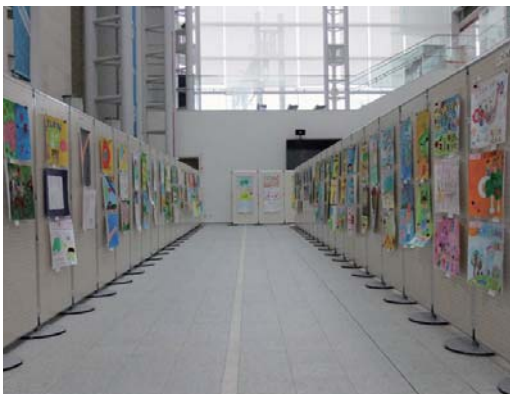


第1R・第1Z

福島リバティライオンズクラブ

■福島市小学生復興ポスター展へ参加賞および優秀作への記念品を贈呈

10月26日(土)福島駅前のこむこむにて、ふるさと福島の復興をテーマとした小学生復興ポスター展が開催され、440点の作品が展示されました。福島リバティライオンズクラブ(会長 大場 秀樹)は参加者全員に参加賞と優秀作に賞状と記念品を贈呈しました。この事業は、結成10周年を迎える当クラブが加盟している全国リバティ同名友好クラブの協同アクティビティとして実施しました。



さしのべる 手の温もりで奉仕の輪

332-D地区アクティビティスローガン

第1R・第1Z

川俣ライオンズクラブ

■コスキンパレード参加並びに協力金贈呈

10月12日(土)9時30分～12時00分、川俣ライオンズクラブは、日本最大級のフォルクローレ音楽祭「コスキン・エン・ハボン2013」に協力しました。

開催前からコスキンをPRするためにPR人形の周辺を整え、万国旗で飾りました。また、開催に先駆けて行われるコスキンパレードに参加し、音楽祭をPRしました。さらに開会式において、運営協力金として30,000円を贈呈しました。

今年は180組チームが参加して行われ、町中は民族音楽一色となり1年で1番賑やかな季節になりました。



パレードの参加者たち



コスキンPR人形(通称:コスキンくん)に万国旗飾りを施した

ポスター審査会会場(一期一会)、審査風景



■国際平和ポスター審査会開催

10月22日(火)午後3時30分より、例会場の一期一会において第26回国際平和ポスターコンテストに応募のあった121点の中から、金賞・銀賞・銅賞を審査する審査会を開催した。

審査員に川俣町教育委員会指導主事、川俣小学校校長、富田小学校担当教諭を招き、川俣ライオンズクラブからもクラブ三役、事業委員ら9名が厳正なる審査をおこなった。金賞と銀賞に選ばれた合計10作品をキャビネットへ送りだした。

第2R・第1Z

福島信陵ライオンズクラブ

■第26回 国際平和ポスター審査会

小中学校6校より、104点の応募が有りました。

10月1日(火)第933回例会席上(12時15分～13時00分、福島卸商団地会館2FレセプションホールⅣ)、出席会員22名でクラブ優秀賞10点を選出し、10月10日キャビネットに送りました。

参加賞並びにクラブ優秀賞受賞者に図書カードを贈りました。クラブ優秀賞以外の94点は、福島信用金庫 鎌田・瀬上両支店に10月11日から11月8日迄展示して頂きました。



例会席上、審査しているところ

2013.10.01

各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第1R・第2Z

二本松ライオンズクラブ

■「ちびっ子ミニバスケットボール交歓会」を実施

10月19日(土)7時30分～16時30分、二本松市城山第2体育館において、二本松ライオンズカップちびっ子ミニバスケットボール交歓会を実施致しました。

今年度で第9回になります。市内より23チーム、約150名が参加し、熱戦を繰り広げました。参加会員20名



元気な選手宣誓

■本年度第1回の「愛の献血運動」の実施

10月25日(金)10時30分～16時30分、ヨークベニマル二本松インター店駐車場において、本年度第1回の「愛の献血運動」を実施しました。台風が近づいて、あいにくの雨の中での献血でしたが、買い物客などが呼びかけに応じて献血してくれました。参加会員35名



献血車内での様子

第2R・第1Z

福島西ライオンズクラブ

■青葉学園ヘラジカセ・アイリス学園へ図鑑セットを寄贈

結成40周年記念事業の一つとして10月2日(水)午後1時～、村松会長、中野大会委員長、石原幹事、鈴木記念事業部会長が児童養護施設アイリス学園と児童養護施設青葉学園を訪れ、アイリス学園へは図鑑セットを、青葉学園へはCDラジカセ10台を寄贈し、大変喜ばれました。尚、10月12日(水)の結成40周年記念式典では感謝状をいただきました。参加会員4名



左から村松会長、中野大会委員長、鈴木記念事業部会長、石原幹事



左から村松会長、中野大会委員長、鈴木記念事業部会長

さしのべる 手の温もりで奉仕の輪

332-D地区アクティビティスローガン

第3R・第1Z

郡山ライオンズクラブ

■柳橋歌舞伎の継承と普及支援

郡山LCが郡山市中田町でふるりの伝統芸能を伝承する「柳橋歌舞伎保存会」(近藤孝輔会長)の活動を支援し始めたのは平成20年9月、今年で6年目を迎えました。

地元の御館小・御館中の児童・生徒が郡山市指定重要無形民俗文化財「柳橋の三匹獅子」を披露、江戸時代中期からの伝統が確実に子どもたちに受け継がれていることが実感されました。またメイン演目の「一谷嫩軍記(いちのたにふたばぐんき)熊谷陣屋の場」では保存会員の熟練の演技に会場から大きな拍手が送られました。

郡山LCではこれまで通り保存会に助成金10万円の贈呈と日本酒を竹筒に入れて温めた竹酒販売の労力奉仕を行いました。今年は公演盛り上げのためにのぼり旗1本を寄贈し、さらに友好クラブである奈良県・大和郡山LCの紹介で8月に研修訪問を行った「金魚すくい」を行いました。最初は遠巻きにながめていた子どもたちも興味を示し、すぐに笑顔と歓声に包まれました。

助成金とのぼり旗は公演の席上、桑原 秀治会長から御館中の生徒に手渡され、保存会からは感謝状を頂きました。



第4R・第1Z

会津若松葵ライオンズクラブ

■「第8回会津若松葵LC杯ドッジボール大会」が盛大に開催

10月27日(日)「第8回会津若松葵LC杯ドッジボール大会」が宮城・福島・茨城、新潟各県より24チーム、選手・父兄・関係者、合わせて約600名が集まり、あいづ総合体育館で盛大に開催されました。8回目となる今回は、小学生のレギュラーの部、ジュニアの部の他、エキシビジョンで一般男性・女子の試合も行われ、息をのむ大迫力な試合が展開されました。当クラブからは渡部恒三会長はじめ13名が参加し、主管チーム「Aoiトップガン」さんと共に大会運営にあたりました。



第4R・第2Z

西会津ライオンズクラブ

■第2回さゆり公園「一斉活動の日」の清掃作業を実施

10月26日・27日に開催される「西会津町ふるさとまつり」の会場となるさゆり公園内の清掃活動に、10月19日(土)(町ボランティアセンター主催)当クラブメンバー13名が参加して、6時00分～7時30分まで園内の除草作業、落ち葉拾い作業をしました。



■アイバンク登録キャンペーンの実施

継続アクトとして実施している、アイバンク登録キャンペーンを10月27日(日)に「西会津町ふるさとまつり」の会場(さゆり公園)にて実施しました。会場では、アイバンク登録・光の箱募金の呼びかけを行い、アイバンク登録には一般の方10名にご協力を頂きました。参加会員12名



アイバンク登録申込書を記入している



第6R・第2Z

原町ライオンズクラブ

■「親善パークゴルフ大会」開催

原町LC5名、相馬LC8名、新地LC4名、飯館LC4名の21名が集り「パークゴルフ大会」が10月19日に開催されました。三瓶会長と菅野幹事は福島市、L渡辺 春治は相馬市、L森 勝は原町市と飯館LCメンバーが夫々の地に避難をし、門馬 弘ZCも郡山市に避難しています。担当の相馬LCに協力いただき、11月28日には第2回ゾーン会議を開催します。競技終了後に懇親会が開催されました。来年4月にチャリティゴルフコンペを飯館LCメンバーが参加しやすいように霊山のパーシモンCCで予定しています。



右はし: 開会の挨拶をされる
 ↖ L門馬 弘(第6R・第2Z・ZC)



■共生授産園生に「ボウリング&カレーパーティ」をプレゼント

ガバナー公式訪問記念事業として、10月26日(土)に実施。心身障害児施設「原町共生授産園」は震災と放射能事故により千葉県の加茂川に避難をしていました。その後、相馬市のユートピアに移り、漸く原町市の授産園に戻りましたが、介護のメンバーが足りず、受け入れ数を少なくしています。南相馬市は病院の医師や看護師・介護施設・各事業所の従業員がかなり不足しています。ボウリングはガターの出ない設定で楽しく行われ、終了後はホテルのカレーライスを食べ放題と楽しく行われました。担当は原町LCでしたが、会津若松鶴城LCや猪苗代LCよりの支援金をいただき、奉仕事業を続けています。 ZC・L門馬 弘 / Z幹事 L長岡 利幸



さしのべる 手の温もりで奉仕の輪

332-D地区アクティビティスローガン

第4R・第1Z

猪苗代ライオンズクラブ

■「猪苗代LC第48回チャーターナイト記念アクティビティ “猪苗代町運動公園施設案内板” 設置」

10月16日(水)18:15～、ホテルリステル猪苗代に於いて、参加者36名で行いました。

贈呈式は、当クラブ第48回チャーターナイト記念家族例会の席上、猪苗代町長にご臨席を賜り、姉妹クラブ横浜ポートヒルライオンズクラブ三役・他メンバー、当クラブL、LL参加のもと、猪苗代町へ目録を贈りました。

贈呈式に先立ち、10月8日(火)8:30～完成を記念し撮影会を行いL15名が出席しました。



■「猪苗代湖の水草回収実施」

10月11日(金)8:30～16:00、猪苗代湖・天神浜に於いて、参加者L・LL21名、中学生・教職員112名で行いました。猪苗代町立東中学校と合同で継続している「水環境保全および青少年健全育成アクティビティ」



■「ゴミ拾い実施」

10月11日(金)10:30～猪苗代町・小平潟において、水草回収作業の空き時間に、小平潟天満宮敷地周りのゴミ拾い作業を行いました。(参加L15名)



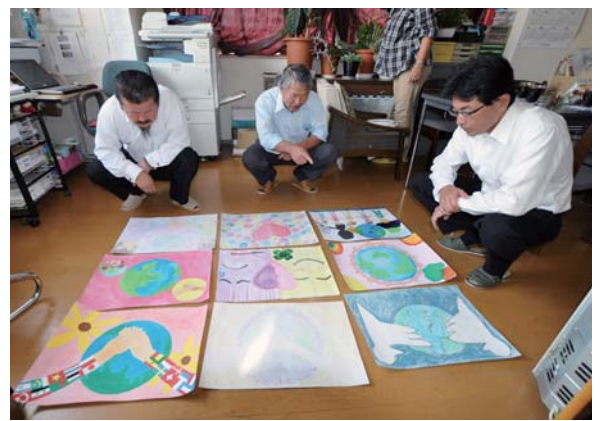
■「GAMBARUZO!ふくしま バレーボールエイド 2013 in 猪苗代エキシビジョンマッチ(開催日10/20)のチケット贈呈」

10月8日(火)9:30、猪苗代町立吾妻中学校他に於いて、同イベントに協賛し、且つ、地区内バレーボール部員へプロのプレーを観戦して欲しいと、猪苗代町立猪苗代中・吾妻中・東中、磐梯町立磐梯中学校へチケットを贈呈しました。参加L5名



■「第26回国際平和ポスターコンテスト 猪苗代LC審査会開催」

10月8日(火)14:00～猪苗代LC事務局において、参加L4名で応募された全作品を審査し、5点をキャビネット事務局へ送りました。



■「野口英世博士顕彰記念猪苗代町内小学校体育祭新記録賞贈呈」

10月10日(木)12:00～猪苗代町立千里小学校において、9月に開催された同大会で新記録が出たので楯を贈りました。(参加L1名。)

各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第5R・第1Z

須賀川ライオンズクラブ

■市内の小学校に「チューリップ球根」を贈呈

須賀川LCは10月8日(火)恒例のチューリップ球根贈呈式を行いました。須賀川養護学校は毎年500球、市内小学校は毎年一校ずつ順番で500球贈呈しており、今年は須賀川第二小学校が順番に当たり、贈呈しました。尚、来年の4月13日(日)には50周年式典を迎えるので、更に第二小学校を除く市内17校(分校含む)に150球ずつ送付贈呈しました。これは、当クラブ員のL田中が富山県出身という事で、球根は本場富山県よりL田中に取り寄せて頂いて15年続いています。出席者:大野会長、沢村事業委員長、鈴木会計、吉田50周年事業実行委員長の4名



第5R・第1Z

須賀川中央ライオンズクラブ

■愛の献血奉仕活動

10月15日(火)当クラブ(金澤 東子会長)では、須賀川アリーナ・アリーナ駐車場内に於いて、午前9時30分より午後4時45分まで献血の奉仕活動を行いました。

献血ご協力の皆様には400mlを呼び掛け、全員にご協力を頂きました。当クラブが準備した卵1パックとタオルを差し上げました。参加会員13名



左から:L佐藤 稔、L本内 久子、L小斉 芳江、L佐藤 まり子、L首藤 美栄子
L金澤 東子、L羽生 弘一、L中村 進、L首藤 忠義、L小斉 一巳



2013年10月 サンパレス 一新!

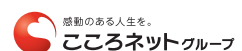
チャペル、ガーデン、パーティー会場が
デザイナーズ空間へ生まれ変わりました

株式会社サンストーン

代表取締役 L立花 恭(福島信陵LC)

サンパレス福島/福島市上町4-30 ☎ 0120-233-809

株式会社サンストーンは、ジャスダック上場
ところネットのグループ会社です。



さしのべる 手の温もりで奉仕の輪

332-D地区アクティビティスローガン

第5R・第1Z

いわせオリオンライオンズクラブ

■長沼東小学校周辺のゴミ拾いを実施

去る9月25日(水)早朝5時30分より約2時間程度、須賀川市立長沼東小学校周辺のゴミ拾いを実施。可燃ゴミ・資源ゴミに分けて行われました。参加会員11名



L 小林 志津子
(福島信陵LC)



第6R・第1Z

いわきライオンズクラブ

■国道49号線沿いにある「観音像」の清掃活動を実施

「10月8日のライオンズデー」と「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」と併せ、25日(金)好間町の国道49号線沿いにある観音像の清掃活動を実施しました。

周辺の雑草を刈ったり、像の汚れを落とすなどし、会員たちは爽やかな汗を流しました。参加会員10名

(※観音像については、昭和62年9月いわきライオンズが国道49号線を行き交うドライバーの安全を願って建立したもの)



農業資材・機器・コイン精米機・プレハブ住宅・物置



株式
会社

フクトウ

L 福地 雅人 (福島信陵LC)


福島市北矢野目字小原田西21-1/TEL(024)553-2910・FAX(024)553-2118



たまのや
総合葬祭

こころかようセレモニーを通じて
家族の絆をつなぐお手伝いをいたします

株式会社たまのや 代表取締役 L 谷藤静広 (福島LC)
福島事業部/福島市黒岩字堂ノ後35 ☎ **0120-45-3311**
24時間365日お電話承ります

株式会社たまのやは、ジャスダック上場
こころネットのグループ会社です。  感動のある人生を。
こころネットグループ



代表取締役 L **鈴木 嘉久** (福島信陵 LC)



有限会社 福島コスモ商会
〒960-0112 福島市南矢野目字上戸ノ内 13-6
電話 024-552-5889・FAX 024-552-5887



土地・建物(売買)、アパート・貸家(仲介)
カ 有限会社 **菅野地所**

代表取締役会長 L 菅野 明子 (福島信陵 LC)

イッテミル ムスブナカノヒト
福島市宮代字宝田前 7-5 TEL (024) **553-6271**・FAX **533-9029**

おいしさで幸せづくり



〒960-8003
福島市森合字中谷地 9-31
TEL 024-557-0555
FAX 024-557-8621



〒960-0112
福島市南矢野目
字道下 30-11
TEL 024-555-0807
FAX 024-555-0806

L 菅野 裕輔 (福島信陵 LC)

insurance agency Co.,Ltd **OVAL**
contract company MS&ADgroup・Aflac
C.E.O **kazuhito Murayama**

L 村山一仁 (福島信陵 LC)
(株)オーバル 〒960-8074 福島市西中央1 丁目19-2
Phone 024-563-1001 Fax 024-563-1400



ナポリタンのおいしいお店 グリルカフェリバーロック4(フォー)が
10月 渡利に オープンしました!

グリルカフェ リバーロック4

株式会社 オリーブオイル
代表取締役 L 杉山 重男 (福島信陵LC)

福島市渡利岩下22-1
TEL 024-563-4317 / FAX 024-563-4318
営業時間 AM11:00~PM10:00
月曜定休日/祝祭日は営業

味の探求・食の追求・付加価値創造
食品添加物・調味料製剤等 製造販売

高保製薬工業株式会社

代表取締役 L 高橋 良子
(福島信陵 LC)

〒960-0101
福島市瀬上町字西上新田25-2
TEL:024-553-5015 FAX:024-553-5081
<http://www.takayasus.co.jp>



リフォームから新築まで

株式会社 亀岡工務店

代表取締役 L 亀岡 正 (福島信陵 LC)

〒960-2154 福島市佐倉下字前3番地
Tel.024-593-1717・Fax.593-1725
E-mail:kame1717@atlas.plala.or.jp



KDS 住宅・商業施設
福島県福島市御山字中屋敷 70-10
TEL.024-529-5215 FAX.024-529-5451

リフォーム事業部
かめかめホーム

リフォームのことなら
おまかせください!



かめかめホーム福島展示場
〒960-8161 福島県福島市郷野目師々田 28 Tel.024-544-1717

かめかめホーム郡山展示場
〒963-8862 福島県郡山市菜根3丁目 23-6 Tel.024-990-1717

かめかめホーム仙台店
〒981-3103 仙台市泉区山の寺一丁目 42-7 Tel.022-371-7011



水と緑の公園墓地

しのぶ霊園好評分譲中

宗教・宗派不問 総区画数 2,000 区画

L 横山 俊邦 (福島信陵 LC)

【しのぶ霊園管理事務所】 <http://antouin.com>

〒960-8202 福島市山口字寺前5 TEL (024)533-8312・FAX (024)533-6785

auショップ 福島北

フリーコール

0800-700-2213

〒960-0112 福島県福島市南矢野目字中江12-10

《年中無休》 営業時間 10:00~19:00



auショップ 吉倉

フリーコール

0800-700-2220

〒960-8165 福島市吉倉字谷地88-2

《年中無休》 営業時間 10:00~19:00



山村無線有限公司

代表取締役 L 山村 秀春 (福島信陵 LC)

安心できるお墓

お墓は家族を繋ぐモニュメント! 石のカンノの安心施工がその絆をしっかり支えます。



実用新案登録済 オリジナル耐震構造

耐震MAX

墓石 **20年長期保証**

しかも

安心と信頼の証

心から心へ
石のカンノ

ハロー イシヤサン
フリーダイヤル **0120-86-1483**

http://ishinokanno.cocolonet.jp/

お見積り無料・展示場見学はお気軽に!

L 飯沼和則 (福島信陵LC) 感動のある人生を。 **こころネットグループ**

発行/2013年11月
発行所/3321D地区キャビネット事務局
発行者/L安澤 莊一

ト一ニチ株式会社

食生活にやさしさと豊かさを提供する企業

TOHNICHI

代表取締役社長 岸秀年
福島信稜ライオンズクラブ

TEL 024-552-2161(代)
http://www.tohnichi-web.co.jp/



アップルシャーベット

編集人/L吉田 敬一
発行所/PR・ライオンズ情報委員会
発行/ライオンズ福島編集局

鎌田 邦男

福島信陵ライオンズクラブ<在籍30年>

有限会社 鎌田商事 代表取締役会長

セブンイレブン鎌田店・国見店<開店35年>

RICOH

東北コピー販売

L 高橋 道信 (福島信陵LC)

【福島本社】〒960-8252 福島市御山一本松 13-5 TEL024-559-0245(代)・FAX024-559-0251

【郡山支社】〒963-8041 郡山市富田町後久保60-1 TEL024-961-1961(代)・FAX024-961-1966

増改築(システムバス・システムキッチン・ボイラー・トイレ etc)、各種住宅設備機器

株式会社 山岸商會

L 山岸 早苗 (福島信陵LC)

福島市北矢野目字窪田 23-2 TEL (024)557-0101(代)・FAX (024)557-0103

グループ会社:(有)泉サービスセンター

事務局/〒963 10102
郡山市安積町笹川字彼岸塚22-19
FAX 024 193710831